

# 「杉並区区民等の意見提出手続」の結果報告書

- 1 政策等の題名 杉並区教育ビジョン2012推進計画
- 2 案の公表の日 平成27年4月11日
- 3 意見提出期間 平成27年4月11日から平成27年5月10日まで  
(30日間)
- 4 意見提出実績  
総数8件(個人8件、団体0件)、延べ20項目
  - ・郵送、持参 3件
  - ・FAX 0件
  - ・メール 2件
  - ・電子掲示板 3件
- 5 お寄せいただいたご意見と教育委員会の考え方
  - (1) 意見の概要と教育委員会の考え方  
別紙1のとおり
  - (2) 修正箇所  
別紙2のとおり
- 6 問い合わせ先  
教育委員会事務局庶務課計画担当  
電話03-3312-2111(代表)

## 意見の概要と教育委員会の考え方

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
1	計画案は全体的には良くまとまっているが、子ども自身が「考えて行動する」という視点が欠けているように感じる。	「確かな学力」の学力観に、子ども自身が「考えて行動する」という視点は含まれており、「杉並区教育ビジョン2012」に掲げる「育てたい力」にも位置付けているところです。今後も、ご指摘の視点を踏まえて、生きる力の育成に努めていきます。
2	今後とも杉並区の子どもで良かったと思えるような教育を進めてほしい。	区内には子どもたちの学びや成長を支える多様な人材、多くの教育・文化施設があります。今後も、こうした社会資源を最大限活かしながら子どもたちが、充実した人生を歩めるよう、杉並の教育の更なる充実を図っていきます。
3	学校教育において、安全・安心教育、思いやり教育、環境教育等の充実・実施を図ってほしい。	学校教育では、知、徳、体の調和のとれた人間形成を図っており、ご指摘の内容については、本推進計画の目標Ⅰに位置付けている「防災教育」や「社会とかかわる力を育む教育の推進」において充実を図っていきます。
4	小中一貫教育には中学入学の嬉しさ、子のリセット感がなくなる、という欠点がある。	杉並区の小中一貫教育は、学校教育法に基づいた「6-3制」を前提としており、施設一体型の学校においても、小学校の卒業式と中学校の入学式はこれまでどおり実施するなど、子どもたちが成長の自覚と飛躍への期待を深め高めることができるように配慮した学校運営を行っています。
5	小中一貫教育に異論はないが、小学校を卒業し、中学校に入学するという節目の意義が薄れるため、施設一体型の一貫教育校には反対である。	
6	次世代型の科学教育を目指す試みはとても面白いと感じるが、短期間で成果を期待するのではなく、子どもがじっくり考え、感じることができるように取組を進めてほしい。	施設・設備の老朽化が著しい現在の科学館は閉館する考えですが、これまで同館が担ってきた学校教育・生涯教育面での科学教育事業は、ICTやデジタル技術の発達等を踏まえ、平成27年度から従来の来館型から身近な地域の施設等への出前型・ネットワーク型の事業展開を図る中で継承し、充実・発展させていきます。
7	理科教育を充実するのであれば、科学館は廃止しないでほしい。	
8	科学館を廃止し、新たに移動式プラネタリウムを購入するのは税金の無駄である。 (他、同趣旨1件)	
9	経営力や教育力という用語は効率重視・競争的なので使わないでほしい。	「経営力」「教育力」とともに文部科学省を始め広く使用される用語であり、それぞれ「適切な役割分担の下によさを生かし合う力」、「子どもたちの学びをより豊かにするための力」という趣旨で用いているものです。

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
10	区独自教員は不要ではないか。	区独自教員は、30人程度学級や理科専科制の実施など、区立学校の教育の充実に大きく寄与しており、今後も学校の実情等に応じて適切に配置していきます。
11	学校図書館司書が司書としての仕事を全うでき、子どもたちの成長にかかわれるように、環境を整えてほしい。	学校図書館の機能及び運営体制の充実・強化を図り、学校図書館を有効に活用した教育を推進していきます。
12	特別支援教室の内容が分かるように記載してほしい。	意見の趣旨を踏まえて特別支援教室に関する注釈を追記します。  〈修正案〉 第2章の目標Ⅲ *特別支援教室とは、知的発達に遅れのない発達障害や情緒障害のある児童を対象に、きめ細かな指導と支援の一層の充実を図るため各校に設置される教室で、専門性の高い教員が巡回指導を行います。
13	いじめ、不登校は、先生が多忙で、生徒と触れ合うゆとりがないことが最大の原因と思う。	生徒理解に努めることは教員の本務であり、日常的な教育活動を支援するために、様々な補助人材を配置しているところです。また、いじめ・不登校の予防や迅速な解決に当たっては、教員や学校の組織的な対応を支援するため、済美教育センター内に専門組織を設置して適切な対応を図っています。今後も、一人一人の児童生徒の状況に応じて、きめ細やかな支援を行っていきます。
14	取組の成果は数値だけではなく、現場目線での評価が必要であり、不登校ゼロの取組は子どもにメリットはないのではないかと思います。	生徒理解に努めることは教員の本務であり、日常的な教育活動を支援するために、様々な補助人材を配置しているところです。また、いじめ・不登校の予防や迅速な解決に当たっては、教員や学校の組織的な対応を支援するため、済美教育センター内に専門組織を設置して適切な対応を図っています。今後も、一人一人の児童生徒の状況に応じて、きめ細やかな支援を行っていきます。
15	目標Ⅳの今後の取組にある「コーディネート機能を充実」の内容が分かりにくい。	今後とも、「地域と共にある学校づくり」に関連する様々な仕組みの関係者が、より連携し取組の質を向上させられる環境整備を目指す考えであり、ご指摘の趣旨を踏まえて、よりわかりやすい文章に修正します。  〈修正案〉 第2章の目標Ⅳ【今後の取組】の説明文関係者のコーディネート力を高めることで、 <u>地域と共にある学校づくりを目指した様々な仕組みが相互連携を図り、それぞれの役割を十分に果たしていける環境を整えていきます。</u> (後略)

No.	意見の概要	教育委員会の考え方
16	「新しい学校づくり」は、学校の統廃合のことなのか。	新しい学校づくりは、子どもたちにより望ましい教育環境を提供するため、平成26年2月に策定した推進基本方針に基づき、学校の適正規模を確保するとともに、小中一貫教育の推進や学校適正配置の観点も考慮して、より質の高い学校づくりを図るものです。今後とも、こうした取組を、学校関係者や地域の方々との連携・協働により進めていきます。
17	学校の統廃合は、学校を中心に成り立ってきた地域の繋がりをなくすことになる。	ご指摘の趣旨を踏まえて、よりわかりやすい文章に修正します。
18	効率面のみの学校統合はやめてほしい。	<p>〈修正案〉</p> <p>第2章の目標Ⅳ【今後の取組】の説明文（前略）子どもたちの望ましい教育環境を<u>提供していく新しい学校づくりを推進します。</u></p>
19	ICT 推進は IT 企業の要請であって、子どもの教育に必要ではない。 (他、同趣旨1件)	教科や単元の内容に応じて、電子黒板やタブレット端末を適宜活用することで、教員と子どもの双方向の授業、子ども同士が学び合うことができる授業などを、より効果的に実施できると考えています。
20	区の施設に、ビリヤード台の増設と初心者向け講習会の開催を希望する。	現在、区の体育施設や集会施設にビリヤード台を設置する等の計画はありません。ご意見は今後の参考とさせていただきます。

教育ビジョン2012推進計画（平成27～29年度）案の修正箇所

1 パブリックコメントに伴う修正（2項目）

修正箇所	パブコメ案	修正内容（修正は下線部）
8 ページ 目標Ⅲ	特別支援教室の注釈なし	<u>*特別支援教室とは、知的発達に遅れのない発達障害や情緒障害のある児童を対象に、きめ細かな指導と支援の一層の充実を図るため各校に設置される教室で、専門性の高い教員が巡回指導を行います。</u>
9 ページ 第2章 目標Ⅳ 【今後の取組】	<u>地域と共にある学校づくりを目指した様々な仕組みが相互連携を図り、その役割を十分に果たしていける環境を整えるために、コーディネート機能を充実していきます。</u> (中略) 子どもたちの望ましい <u>学習環境</u> を提供していく <u>ため、新しい学校づくりを進めていきます。</u>	<u>関係者のコーディネート力を高めることで、地域と共にある学校づくりを目指した様々な仕組みが相互連携を図り、それぞれの役割を十分に果たしていける環境を整えていきます。</u> (中略) 子どもたちの望ましい <u>教育環境</u> を提供していく <u>_____新しい学校づくりを推進します。</u>

2 パブリックコメントによらない修正（18項目）

修正箇所	パブコメ案	修正内容（修正は下線部）	修正理由
1 ページ 第1章 1の説明文	このたび、就学前教育のさらなる充実や科学教育の推進、 <u>アレルギー疾患のある児童・生徒への対応など、新たな課題へ取り組むため、</u> （後略）	このたび、就学前教育のさらなる充実や科学教育の推進、 <u>食物アレルギー対策などの新たな課題への対応を含め、「杉並区教育ビジョン2012」の実現に向けた取組を一層加速するため、</u> （後略）	より適切な記述に修正
1 ページ 第1章 2の見出しと説明文	2 計画の位置付け__ (前略)に基づく、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の対象と <u>します。</u>	2 計画の位置付け等 (前略)に基づく__「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の対象と <u>して各年度の取組の進行管理を図っていくこととします。</u>	より適切な記述に修正
1 ページ 第1章 3の説明文	(前略) ただし、_____杉並区総合計画・実行計画等の改定__に合わせ、（後略）	(前略) ただし、 <u>今後の</u> 杉並区総合計画・実行計画等の改定 <u>等</u> に合わせ、（後略）	より適切な記述に修正

修正箇所	パブコメ案	修正内容（修正は下線部）	修正理由
4 ページ 指標の備考	区立中学校 3 年生の相互承認 （自分と違う意見も大事にする態度）の割合 区「 <u>教育調査</u> 」による	区「 <u>意識・実態調査</u> 」による	誤記による修正
5 ページ 目標Ⅱ 【これまでの取組】	（前略）その機能_____が確実に図られています。 （後略）	（前略）その機能の <u>充実</u> が確実に図られています。 （後略）	誤記による修正
8 ページ 指標の数値	情緒障害学級の入級待機児童数（小学校） 現状値 <u>71</u> 人（ <u>25</u> 年度）	現状値 <u>112</u> 人（ <u>26</u> 年度）	現状値を最新値に修正
	個に応じた指導が充実していると感じる子どもの割合 現状値 <u>50.8%</u> （ <u>25</u> 年度）	現状値 <u>46.7%</u> （ <u>26</u> 年度）	現状値を最新値に修正
9 ページ 目標Ⅳ 【これまでの取組】	<u>教育委員会では、平成 17 年度から保護者や地域住民が学校運営に参画する（中略）</u> 「学校支援本部」は平成 22 年度_____に全校に設置され、「学校・地域コーディネーター」を中心に土曜授業を含む授業支援を行うなど、（中略） 2 地区に広がっています。これらの取組が <u>相互に連携することにより</u> 、地域と共にある学校づくりは着実にその質を高めています。	_____平成 17 年度から保護者や地域住民が学校運営に参画する（中略） 「学校支援本部」は平成 22 年度 <u>までに</u> 全校に設置され、「学校・地域コーディネーター」を中心に土曜授業を含む授業支援を行うなど、（中略） 2 地区で展開しています。これらの取組の <u>相互の連携を図る中で</u> 、地域と共にある学校づくりは着実にその質を高めています。	より適切な記述に修正
11 ページ 目標Ⅴ 【これまでの取組】	<u>教育委員会では、耐震上課題のある学校の（中略）、区立小中学校の校舎等の耐震化は_____完了しました。</u> （中略）平成 27 年 4 月に「杉並和泉学園」として開校 <u>を迎えました。</u>	_____耐震上課題のある学校の（中略）、区立小中学校の校舎等の耐震化は <u>平成 24 年度に完了しました。</u> （中略）平成 27 年 4 月に「杉並和泉学園」として開校 <u>しました。</u>	より適切な記述に修正
11 ページ 目標Ⅴ 【今後の取組】	（前略）特別教室のエアコン設置を進め、 <u>学習環境の向上を図ります。</u>	（前略）特別教室のエアコン設置を進め、 <u>学習環境の向上を図ります。</u>	より適切な記述に修正

修正箇所	パブコメ案			修正内容（修正は下線部）			修正理由
12 ページ 指標の数値	目標値 (29年度) 41校	目標値 (33年度) 41校	備考 小学校の 設置類計 校数	目標値 (29年度) 小学校 全校	目標値 (33年度) 小学校 全校	備考 _____	より適切な記述に 修正
13 ページ 目標Ⅵ 【これまでの取組】	教育委員会では、地域図書館等の「場」の整備や区内大学等との連携により、(後略)			_____地域図書館等の「場」の整備や区内大学等との連携により、(後略)			より適切な記述に 修正
14 ページ 指標の数値	図書館利用者数 現状値 277万人 (25年度)			現状値 283万人 (26年度)			現状値を最新値に 修正
15 ページ 目標Ⅶ 【これまでの取組】	教育委員会では、平成25年度に、(中略)「すぎなみスポーツアカデミー」__開講し、(後略)			_____平成25年度に、(中略)「すぎなみスポーツアカデミー」 <u>を</u> 開講し、(後略)			より適切な記述に 修正
19～46 ページ 表の見出しの 語句	26年度末 <u>(見込)</u>			26年度末_____			26年度末として確定したことによる 修正
28 ページ 目標Ⅲ	1 特別支援教育の充実 (前略)特別支援教室を <u>小学校で計画的に試行し、全校設置に向け準備を進めます。</u> (後略)			(前略)特別支援教室 <u>について、平成28年度以降、全小学校を対象に段階的に拡充します。</u> (後略)			より適切な記述に 修正
28 ページ 事業量	28年度 拡充	29年度 拡充	3か年計 試行 小学校7校 拡充	28年度 実施	29年度 実施	3か年計 試行・実施	より適切な記述に 修正
34 ページ 目標Ⅳ 2の本文と注釈	2 地域に開かれた学校づくりの推進 (前略)学校評議員制度への情報提供等を充実し(後略) *学校運営協議会とは(後略) *学校評議員制度とは、(中略)校長の求めに応じて学校運営に関する意見交換を深める目的で設置された組織です。			(前略)学校評議員_____への情報提供等を充実し(後略) *学校運営協議会とは(後略) *学校評議員_____は、(中略)校長の求めに応じて学校運営に関する意見を述べることを目的に設置しています。			より適切な記述に 修正

修正箇所	パブコメ案			修正内容（修正は下線部）			修正理由
41 ページ 目標Ⅶ 2の事業量	26年度末 (仮称) 図書館の電子情報サービス対応方針の策定	27年度 電子情報サービスの検討	3か年計 電子情報サービスの検討	26年度末 (仮称) 図書館の電子情報サービス対応方針の <u>検討</u>	27年度 <u>(仮称) 図書館の電子情報サービス対応方針の策定</u>  電子情報サービスの検討	3か年計 <u>(仮称) 図書館の電子情報サービス対応方針の策定</u>  電子情報サービスの検討	(仮称) 図書館の電子情報サービス対応方針の策定スケジュールを見直したことによる修正